

長野県総合教育センター通信

ののめ

2019/10/23 (令和元年10月号) 第126号

〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢6342-4 URL: www.edu-ctr.pref.nagano.lg.jp/

TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290

E-mail: kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

目次

評議員の皆様からご意見を戴きました。・・・・・・・・・・	1
高校生の販売実習がありました。・・・・・・・・	1
探究する単元をつくろう⑥(家庭科)・・・・・	2
リーフレットをご活用ください。・・・・・・・	3
研修講座から・・・・・・・・・・・・・	4

評議員の皆様からご意見を戴きました。

9月24日(火)に評議員会を開催しました。

当日は、所内での研修や生徒実習の様子をご見 学いただいた後、研修、生徒実習、研究調査、教育 情報、教育相談の各事業についてご説明させてい ただき、事業についてや当センターに期待すること など、様々な立場の方から、貴重なご意見をいただ きました。

いただきましたご意見は、今後の事業運営及び研 修講座づくりに反映させてまいります。



高校生の販売実習がありました。

9月5日(木)「高校校長研修」と、9月20日(金)・27日(金)に実施された「義務校長マネジメント研修」に合わせて、商業科の生徒さんが販売実習をしました。

高校生が企画した商品の販売 に頑張って取り組む姿を、多くの先生方 に見ていただくことができました。





12月7日(土)には、県内の専門・総合 学科高等学校に学ぶ生徒が集い、学習 成果の発表等を行う

「産業教育MIRAIフェア」。 が当センターを会場に実施されます。 そちらにも是非お出かけください!

*次回の「しののめ(127号)」に、ご案内を掲載します。



探究する単元をつくろう⑥



~手書きで、子どもたちの気付きを大切にした題材展開を構想しましょう~

家庭科の授業づくりでは、子どもの実態を踏まえ、子どもの身近な生活との関わりや、社会とのつながりなどを重視した題材の選定や題材展開などを構想することが求められています。日頃から、学習内容や子どもに関わる情報を広く深く集め、手書きでメモしておくことが大切です。ここでは、中学校の「住まいの学習」を例に、題材展開の構想の仕方を紹介します。

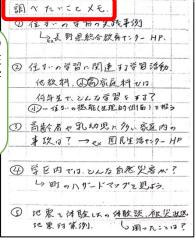
1 ノートを用意。集めた情報を貼ったり、思いついた授業アイデアなどをメモしたりします。

●学習指導要領解 説も/ートへ。授業 のねらいをつかみま

中学校の住まいの 学習は、「安全な住 まい」について、学 習します。自然災 害に備えた住空間 の整え方について も扱います。



●「調べたいことメモ」作成。 集めた情報は/ートへ貼ります。



●教材や学習活動なども、思いつい たら箇条書きで、書いておきます。

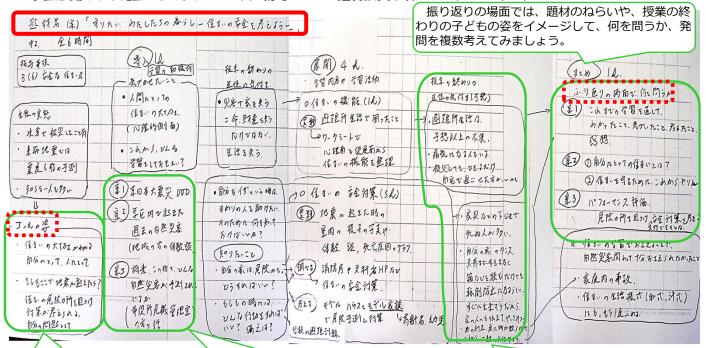
考えられる 言習 活動、投稿 門) 大和馬旗
・福か、の機能 一 歴紀代生活、体験談
・有なける人が17、12月のかる? ex
・市役所 危機管理室の方から。
・の町でいれない自然空室で町の対応が開ける。
順期注意 (海・草立対策への関い高りま?
12月からか?
・家庭内の事故 一 団爪生治ヤ・ター、清大名庁の下・タ
保育支閣とのフケルツ)
・ ぶょうな 実験的 画
・ 信か、の 安全村 第一 企び付った言習けかいる。
・ 信かの 写習の異常しなのでライバミーシャイルバンス
・ 行かの 写習の異常しなのでライバミーシャイルバンス
・ で裏対策も生じ、利役性 エアのあ

情報収集している中で、地元の専門家や、授業協力していただきたい方との出会いが生まれます。

どのような授業 を子どもとつ? 子どもたちにか? 子気付かせたいか? を気付かせたいか ? 題材展開の構想 がみえてきたら、 「2 題材展開の構想」へ進みます。

<mark>2 題材展開を構想。授業の終わりの子どもの姿をイメージし、集めた情報やアイデアの中から</mark>「これ」と思う教材や学習活動などを選んで、書いていきます。

●授業では、前時の授業での子どもたちの気付きや思いと、教科の目標や指導事項を確認し、次時に想定していた教材や学習活動などを見直します。そのため、当初考えていた題材展開と変わることがあります。



授業に入る前に、授業 の終わりの子どもの姿を イメージしましょう。 が 授業での発問と提示教材を精選し、子 どもの思考に働きかけ、心を揺さぶるような、導入場面を複数考え、吟味してみましょう。

授業では、子どものつぶやきに耳を傾け、「あれ?」と思った気付きを記録しておきます。そしてその気付きに関わることを調べてみると発見があります。

リーフレットをご活用ください。

昨年度、生徒指導・特別支援教育部では、研究調査事業の一環として、 「子どもを支えるために」~子ども理解を考える~

というテーマで研究を進め、下に掲載のリーフレットを作成しました。 ぜひ、ダウンロードしてご覧いただき、ご活用ください。

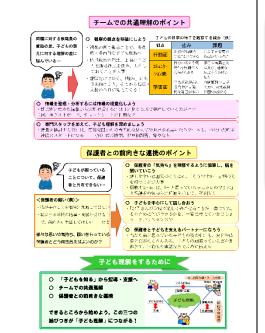
子どもを支えるために ~子ども理解を考える~



リーフレット作成と活用にあたって

私たちは、子どもを支え、子どもが実施で安心して過ごせる学校生活を振い、今年度は、 子どもを真心中に版えた「子ども朝鮮」を中心にリーフレットを作成しました。 各学後で、子どもの言葉や姿からその作業を招る子ども明珠、それに基づく具体的な話 選、支援を考え、テームでの大道世界や保護者との連携などの参考資料として、活用していただければと思います。

長野県総合教育センター生徒指導・特別支援教育部



このリーフレットは子ども 理解と指導・支援に向けて、 「教職員の問題に対する意識 の差」「子どもや保護者から の訴えについての理解の差」 に着目し、これらの課題を解 決するために、どの先生にも 実践して いただきたい基本的 なポイントをまとめています。



ポイントは

- (1)「子どもを知る」から 指導・支援へ
- (2)チーム(校内外の関係者)での 共通理解
 - 一困りを抱え込まない、抱え込ませないために~
- (3)保護者との前向きな連携 ~子どもを真ん中にして、 保護者と同じスタンスで~ です。

支援会議等でもご活用ください。





ダウンロード方法

トップページの研究調査をクリック!



平成30年度研究調査をクリック!

チーム課題研究

平成30年度研究調查>

平成29年度研究調查>

平成28年度研究調查>

リーフレットのURL:

https://www.edu-

ctr.pref.nagano.lg.jp/kenkyu_chousa/project/H30 _Research/30_d_leaf.pdf

<課題 D (生徒指導・特別支援教育部) >

「子どもを支えるために」

〜子ども理解を考える〜 PDFファイルダウンロード

「リーフレットPDFファイルダウンロート

研修講座から

外国語活動の授業づくり ~3・4年「Let's Try!」の活用アイディア~ (6月3日)

この講座は、小学校外国語活動の推進のため開設され、24名の方が受講しました。

講座中にペアやグループワークを取り入れ協働的に学ぶとともに、マイクロティーチング※を 行うことで、受講者の実感が伴う学びのある講座となりました。

<講座のねらい>

- 外国語活動のねらいや指導のあり方について理解を深める
- 具体的な活動例を学ぶことで、各学校での授業実践に生かす

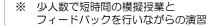
<講座の主な内容>

(模擬授業)「体験から学ぶ外国語活動」

(講義・演習) 「外国語活動のねらいと授業づくり」

(演習) 「活動のアイディア」

(講義) 「明日につながる教材研究」



◆◆受講者アンケートから◆◆

- 「つけたい力と活動内容」を両 方組み込むことで自分も子どもも ゴールを目指しやすくなると知り ました。
- 私にない着眼点や考え方を共有 できて楽しめました。
- ・となりの人と話す、4人で話す、 先生と相談する、と自分の考えを いろんな形で出せたと思います。

講座の資料より



段階をおった指導(例) どんな英語聞こえ たかな? Step 1 文字なしで聞く Step 2 メロディーのみ聞く Step 3 メロディーに合わせハミング Step 4 教師: 歌う 児童: ハミング (意味確認)

Step 5 児童:歌う 教師:ハミング

Step 6 曲に合わせて歌う

初心者のためのICT活用 A (6月3日)

この講座は、ICTを活用した教材作成や指導方法について実際の操作をとおして考え、授業改 善につなげていただきたいという思いで開講され、24名の方が受講されました。

<講座のねらい>

- ICTの特性と実践事例から、学校でのICT活用法を知る
- 簡単な教材の作成方法や基本的なICT機器の操作方法を演習により身に付ける
- ・ICTを活用した模擬授業をとおして授業づくりを考える

<講座の主な内容>

(講義) 「教育の情報化について」「ICTの特性を生かした活用の基本について」

(演習) 「カメラ機能及びインターネットの操作と活用」

(演習)「フラッシュ型教材の活用と教材作成」「実物投影機・電子黒板の操作と活用」

(研究協議)「ICTを活用した授業づくりを考える」

◆◆受講者アンケートから◆◆

- 「気軽に」「難しく考えずに」とい う点を強調して話してくださり少し でも活用しようと思いました。
- 教科書を映すことでポイントがしぼ られ生徒が分かりやすくなるという 事が分かった。
- フラッシュ提示を作り、生徒が自ら 発言するような授業づくりをしてみ たいと思った。

講座の資料より



講座の様子

